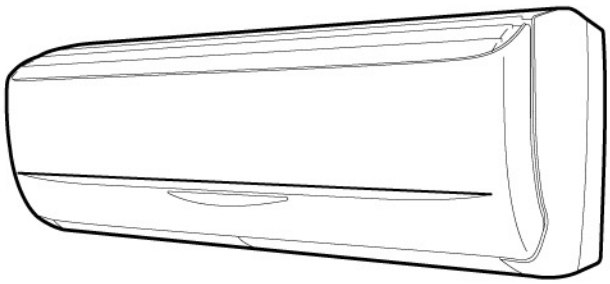
別冊

ガスヒーポン ハウジングマルチ

Living Mate

取扱説明書 ／ 3馬力マルチ

このたびは、大阪ガスのガスヒーポンハウジングマルチをお買い上げいただきましてありがとうございます。
安全にご使用いただくために、機器を使用する前によく読み、十分に理解したうえで使用してください。
● この取扱説明書は、もう一冊の取扱説明書（室外ユニット記載分）に追加したところのみを記載しています。



室内ユニット

（壁掛形高機能タイプ）　145－5040/5042型

HFC採用エアコン

このエアコンは地球のオゾン層を破壊しない
新冷媒R410Aを採用しています。

大阪ガス

特長

新呼吸システム

給気、排気の切り換え方式による換気を行うことにより、一年中お部屋の空気をきれいにします。

自動換気

お部屋の空気の汚れ具合を CO_2 センサーで、室内外の温度差を温度センサーで見張り、自動で換気運転を行います。

強制換気

お部屋の空気の状態に関係なく、連続して強制的に換気運転を行います。

※CO_2（二酸化炭素）は全般的な室内空間の空気汚染を評価する1つの指標と言われています。

給排切換

シーンに合わせて、給気・排気運転、給気のみ、排気のみの運転を選ぶことができます。

(13,27ページ)

UV・除菌クリーンシステム

UV・除菌ユニットのはたらきで、エアコン内部をクリーンに保ち、エアコンから吹き出す空気をきれいにします。
さらに換気運転と連動して、汚れた空気や熱気・湿気を外に排出します。
また、給気時には室外より取り入れた空気をUV・除菌ユニットに導き除菌を行います。

UV・除菌ホコリカット機能

風向・風量自動の運転開始時から30秒間、排気ファンと連動してUV・除菌ユニットが作動し、運転開始時のエアコンから吹き出すホコリの飛散をおさえるため、吹き出す空気を一度フィルターを通過させてホコリを回収します。

UV・除菌クリーン機能

停止中のリモコン操作により、排気ファンと連動してUV・除菌ユニットが作動し、送風運転や弱風で暖房運転して内部を乾燥させ、さらに熱交換器を高温にしてカビなどの発生をおさえます。
開始後、35分間で自動的に停止します。

UV・除菌カビガード機能

停止後30秒間、排気ファンと連動してUV・除菌ユニットが作動し、弱風で送風運転して内部を乾燥させ、カビなどの発生をおさえます。

(25ページ)

双方向リモコン

リモコンの「おしえて」ボタンで、室内ユニットからのお部屋の湿度、室外温度・給排状態、CO_2 濃度の状態の情報を伝える双方向通信ができます。
そして、そのときどきのお部屋の状況をリモコンに表示し、確認しながら運転することができます。

(19ページ)

洗えるアパタイト空気清浄フィルター

素材の3層構造で抗菌、脱臭、集塵の3つの効果を持ったフィルターです。
水洗いにより再使用が可能で、これにより効果も再生することができ、寿命も延びました。（当社比）

(21,22ページ)

イオン立体気流

３枚のルーバーとたて羽根が立体的な風を作り出し、お部屋の空気をリフレッシュするマイナスイオンと快適温度をムラなくお部屋のすみずみまでゆき渡らせます。

(26 ページ)

■ご使用上でのお知らせ

運転開始時・停止後には一時的につぎのような機能がはたらきます。

	機　能	運 転 条 件
開始時	冷風防止	暖房時
	ニオイカット	冷房・ドライの風量自動時
	UV・除菌 ホコリカット	風向・風量自動時 暖房時　：冷風防止優先 冷房・ドライ時　：ニオイカット優先
停止後	UV・除菌 カビガード	全ての運転停止後

- 運転開始時と停止後には、排気ファンが動作します。
- 運転開始時にはUV・クリーンランプが30分間点灯、1.5時間消灯をくり返します。
- UV・除菌カビガード停止後、ルーバーはファン停止後に閉じます。

(くわしい説明　25～27ページ)

もくじ

Contents

ご使用の前に

安全上のご注意 ご使用になる前に必ずお読みください	3
各部のなまえ	5
かんたん、便利に快適空調 （リモコン操作一覧表）	7
運転前の準備	9

使いかた

自動／暖房／ドライ／冷房／ 空気清浄単独運転	11
風向調節／風量調節	12
換気運転	13
ハイパワー運転／UV空気清浄運転	14
入タイマー・切タイマー	15
1・2・3・5Hタイマー運転	16
UV・除菌クリーン運転／ チャイルドロック／快眠運転	17
イオン切換／応急運転	18
おしえてボタン	19

必要なときに

お手入れのしかた	20
エアコンのくわしい説明	25
故障かな？と思ったときは	28
こんなときはご連絡ください	29
仕様	30

安全上のご注意

安全に関する重要な内容です。よくお読みいただき、必ずお守りください。

⚠ 警告	誤った取り扱いをしたときに、死亡や重傷等の重大な結果に結び付く可能性が大きいもの。
⚠ 注意	誤った取り扱いをしたときに、傷害を負う危険または物的損害に結び付く可能性があるもの。

■お守りいただく内容の種類を、つぎの絵表示で区分し、説明しています。

してはいけない「禁止」事項		一般的な禁止		ぬれ手禁止		水ぬれ禁止
していただく「実施」事項		必ず行う		電源を落とす		アースを接続する

⚠警告

新冷媒R410A以外の冷媒は絶対に使用しない

機械の故障と同時に、冷凍サイクルの破裂などの重大事故になります。

吹出口・吸込口に指や棒などを入れない

内部でファンが高速回転しているため、ケガの原因になります。
とくに小さなお子さまにはご注意ください。

異常時（こげ臭いなど）は運転を停止して室外ユニットの漏電ブレーカを落とす

異常のまま運転を続けると、故障や感電・火災の原因になります。お買いあげの販売店にご相談ください。

エアコンが冷えない、暖まらない場合は、冷媒の漏れが原因のひとつとして考えられますので、お買いあげの販売店にご相談ください。

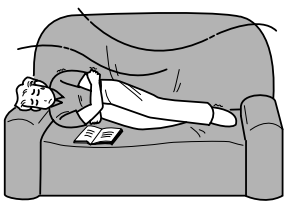
冷媒の追加を伴う修理の場合は、修理の内容をサービス技術者に確認してください。
エアコンに使用されている冷媒は安全です。冷媒は通常漏れることはありませんが、万一、冷媒が室内に漏れ、ファンヒーター、ストーブ、コンロ等の火気に触れると有害な生成物が発生する原因になります。

自分で修理・移動・再設置・廃棄はしない

不備があると火災・感電・水漏れなどの原因になります。廃棄時も危険ですので、自分で行わないでください。

長時間冷風をからだに直接当てたり、冷やしすぎない

体調悪化・健康障害の原因になります。



吹出口の１m以内にスプレー缶などを置かない

温風によりスプレー缶などの圧力が上がり、爆発するおそれがあります。
絶対にやめてください。

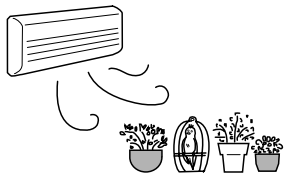
⚠ 注意

ほかの目的に使用しない

このルームエアコンは居室用です。精密機器・食品・動植物・美術品の保存など特殊用途には絶対に、使用しないでください。思わぬトラブルの原因になることがあります。

動植物には直接風を当てない

動植物に悪影響をおよぼすことがあります。



指定以外の電源を使わない

故障・火災などの原因になります。

エアコンの風が直接当たるところで燃焼器具を使わない

燃焼器具の不完全燃焼による、一酸化炭素中毒などの原因になることがあります。

ぬれた手でスイッチを操作しない

感電の原因になることがあります。

燃焼器具と一緒に運転するときは、こまめに換気をする

換気が不十分な場合は、酸素不足の原因になることがあります。

エアコンを掃除するときは運転を停止し、室外ユニットの漏電ブレーカを落とす

内部でファンが高速回転しているため、ケガの原因になることがありますのでファン停止を確認してください。

エアコンを水洗いしたり、花びんなど水の入った容器を載せない

故障・感電・火災の原因になることがあります。

漏電ブレーカーを取り付ける

設置場所によっては漏電ブレーカーの取り付けが必要です。漏電ブレーカーを取り付けていないと感電の原因になることがあります。

ユニットに乗らない・ものを載せない

落下・転倒などにより、ケガの原因になることがあります。

室内ユニットの下に、ほかの電気製品などを置かない

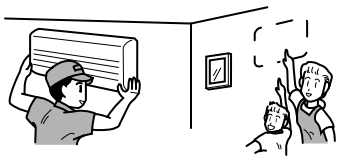
水滴が滴下することがあり、故障・感電の原因になることがあります。

据え付け上の注意事項

⚠ 警告

自分で据え付けはしない

不備があると故障、水漏れや感電、火災の原因になります。
お買いあげの販売店または専門業者にご依頼ください。



⚠ 注意

可燃性ガスの漏れる場所へは設置しない

万一ガスが漏れてユニットの周囲にたまると、爆発・火災の原因になることがあります。

アース工事をする

アース線は、ガス管･水道管･避雷針･電話などのアース線等に接続しないでください。
アース工事が不完全な場合は、感電の原因になることがあります。

室内ユニットのドレン配管は、室外ユニットの排気ドレンホースと同じ所へ接続しないでください。

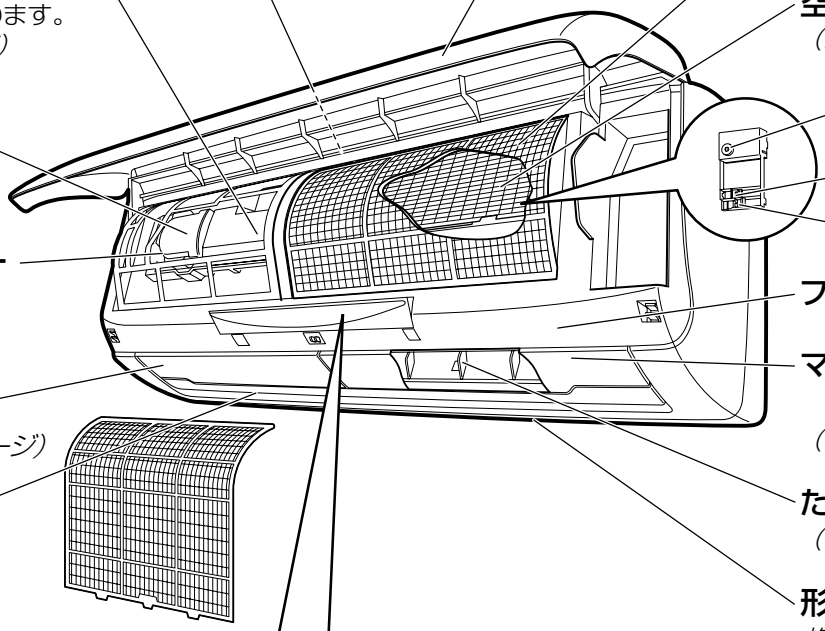
排気ガスが室内へ逆流すると、中毒などの原因になります。

ドレンホースは、確実に排水するように配管する

排水工事が不確実な場合は、屋内に浸水し家財などをぬらす原因になることがあります。

各部のなまえ

室内ユニット



吸込口（前面・上面）

前面パネル

エアフィルター
（21ページ）

UV・除菌ユニット
内部にUVランプと除菌フィルターがあります。
（21,25ページ）

空気清浄フィルター
（21,22ページ）

CO_2センサー

湿度センサー

本体センサー

排気ユニット

給気フィルター
（21,22ページ）

ファン（内部）

マイナスイオン発生針（内部）
（18,23,24ページ）

ルーバー
（12,23,24ページ）

たて羽根
（12,23,25ページ）

吹出口

形名
修理やお問い合わせのときは、ここに書いてある形名をご連絡ください。

送信部
室内ユニットの運転状態をリモコンに送信します。

給気ランプ
（11,13,14ページ）

排気ランプ
（11,13,14,17ページ）

受信部
リモコンからの信号を受信すると“ピー”と音がします。

表示部

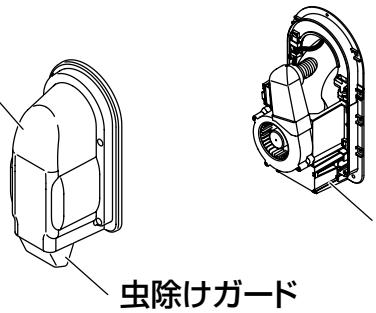
UV・クリーンランプ
（11,13,14,16～18ページ）

イオンランプ
（11,13,14,18ページ）

タイマーランプ
（15ページ）

運転ランプ
（11,13,14,18ページ）

給気ユニット

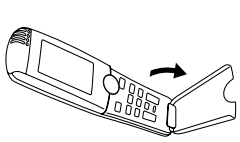


給気カバー

給気ユニット本体

虫除けガード

開けかた　　閉じかた



静かに開ける。
（無理な力をかけない）

扉の両側を持って、
パチッと音がするまで
閉じる。（閉じないと正しい操作ができません）

リモコン

説明のため表示画面すべてを表示してあります。

- 運転中に温度ボタン・風向ボタン・風量ボタン・換気給排切換ボタンを押すと、それぞれの設定確認ができます。
- **ボタン操作を受け付けないときは、ドット表示部に 無効ボタン と表示されます。**
  また、チャイルドロックがされているときのボタン操作時には チャイルドロック と表示されます。

送信部

受信部

体感センサー
リモコンのまわりの温度を感知します。

表示部
運転状態を表示します。
温度表示範囲

5～35℃ （5℃以下は5℃、 35℃以上は35℃）

＊ 温度は誤差がありますので、めやすとしてお使いください。

運転／停止ボタン
押すと運転し、もう一度押すと停止します。

ドット表示部

換気ボタン
（13ページ）

ハイパワーボタン
（14ページ）

1・2・3・5H タイマーボタン
光を蓄える蓄光材を使用し、暗いお部屋で光ります。
（16ページ）

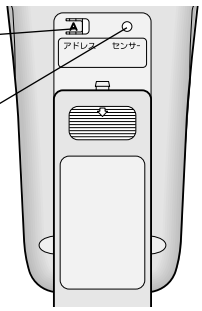
UV空清ボタン
（14ページ）

おしえてボタン
（19ページ）

温度ボタン
（11ページ）

カバー

裏から見た図



アドレス切換
（25ページ）

センサーボタン
（10ページ）

▼裏面のふたをスライド

換気給排切換ボタン
（13ページ）

風量ボタン
（12ページ）

UV・除菌クリーンボタン
（17ページ）

入タイマーボタン
切タイマーボタン
取消ボタン
1回／毎日ボタン
（15ページ）

時計ボタン
（10ページ）

▼カバーを開ける

運転切換ボタン
（11ページ）

風向ボタン
（12ページ）

イオンボタン
（18ページ）

快眠ボタン
（17ページ）

チャイルドロックボタン
押すとすべての操作ができなくなり、もう一度押すと解除します。
（17ページ）

かんたん、便利に快適空調（リモコン操作一覧表）

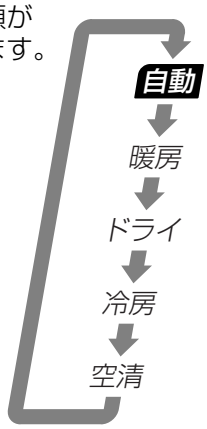
自動・暖房・ドライ・冷房・空気清浄単独運転

運転の種類　運転時のドット表示

運転するとき

1 室外ユニットの電源を入れ、運転切換 を押して運転の種類を選ぶ

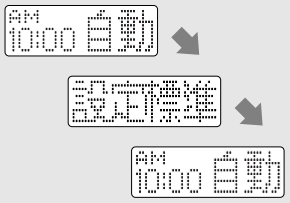
押すごとに運転の種類がつぎのように変わります。



2 運転・停止 を押す

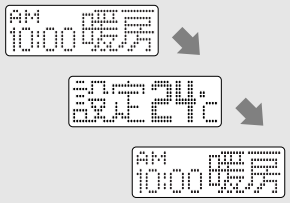
室内ユニットの運転ランプが点灯

エアコンに運転内容をおまかせするとき ⇒ **自動**



寒いとき

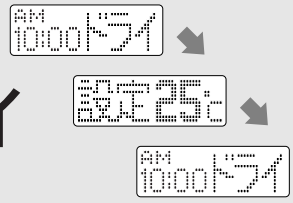
⇒ **暖房**



ジメジメするとき

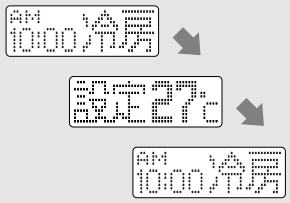
- 梅雨
- 季節の変わりめ

⇒ **ドライ**



暑いとき

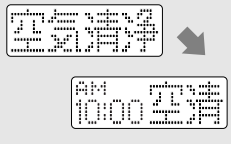
⇒ **冷房**



空気の汚れが気になるとき

- 花粉
- タバコの煙・ニオイ※
- 家のホコリなど

⇒ **空気清浄**



設定温度を変えたい

温度を調節する

1℃ごとに変化します。

温度 ▲ 上げたいとき

温度 ▼ 下げたいとき

停止するとき

もう一度 運転・停止 **を押す**

ドット表示

- 運転切換 で運転の種類を切り換えると、設定温度はもとの設定のままですので、おこのみの温度に変更してください。

※ タバコの有害物質（一酸化炭素等）は除去できません。
常時発生する臭い成分（建材臭、ペットの臭い等）はすべて除去できるわけではありません。

さらに便利に

ドット表示部
各ボタンの操作状況と、運転状況を表示します。

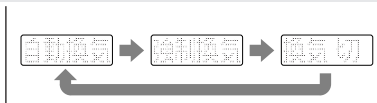
表示部
運転状況を表示します。

▼カバーを開ける

- ドット表示（タイマー操作はのぞく）はボタン操作時に表示され、その後もとの表示にもどります。
- 快眠 は空気清浄単独運転、UV空気清浄運転時には機能しません。
- 換気 ・ イオン は初期設定で「自動換気」・「イオン」が選択された状態になっています。

お部屋の空気の入れ換えをしたいとき
- 換気運転 *(13ページ)*

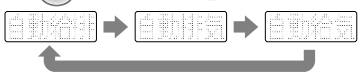
→ 換気



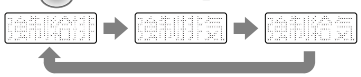
換気運転の給気と排気を切り換えたいとき
(13ページ)

→ 換気 給排切換

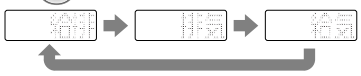
- 換気 で「自動換気」が選ばれている場合



- 換気 で「強制換気」が選ばれている場合



- 換気 で「換気切」が選ばれている場合



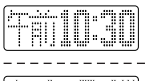
設定した時間だけ運転したいとき
- 1·2·3·5Hタイマー運転 *(16ページ)*

→ 1·2·3·5H タイマー

運転中、停止中にかかわらず、設定した時間だけ運転します。

おこのみの時刻に運転、停止したいとき
- タイマー運転 *(15ページ)*

→ 入 タイマー 切 / 取消 / 1回／毎日



- タイマー設定時に有効です。

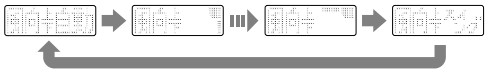
空気清浄単独運転を直接選びたいとき
- UV空気清浄運転 *(14ページ)*

→ UV空清

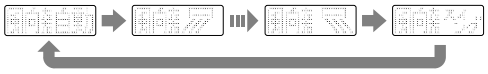
風の向き、量をおこのみに変えたいとき
- 風向調節
- 風量調節

(12ページ)

→ 風向



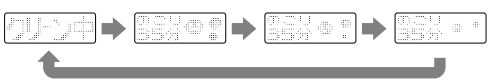
→ 風向



→ 風量

室内ユニット内部のカビをおさえたいとき
- UV・除菌クリーン運転 *(17ページ)*

→ UV·除菌 クリーン



お子さまのいたずらや誤操作を防ぎたいとき
(17ページ)

→ チャイルドロック（2秒押す）

※表中 ▮▮▮▶ では、ドット表示の変化を省略しています。

運転前の準備

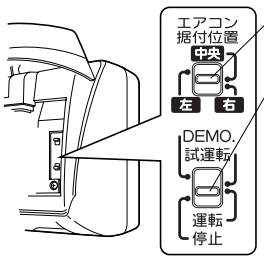
室内ユニットの準備

1 前面パネルを開ける

前面パネルの両端を手前に引き上げると、内側に本体操作部があります。

2 エアコン据付位置つまみをお部屋の据付位置に合わせる

3 セレクトスイッチを「運転」の位置に合わせ、前面パネルを閉じる

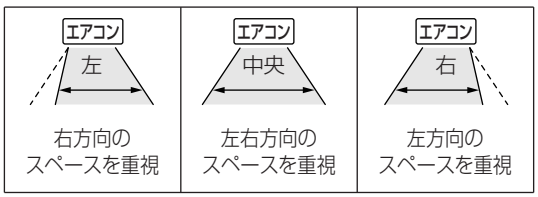


4 空気清浄フィルター(ご使用の場合)と給気フィルターを取り付ける

（取り付けかた　22ページ）

エアコン据付位置つまみについて

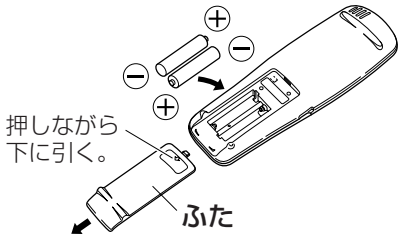
お部屋のエアコン据付位置に合わせて設定することにより、送風の範囲を適正な位置に限定します。たて羽根のスイング範囲はつぎのようになります。



リモコンの準備

乾電池の入れかた（単4形アルカリ乾電池2本）

1 裏面のふたをはずす



2 交換の場合は 運転 停止 を押す

（初めて電池を入れるときは必要ありません。）
古い乾電池を2本ともはずしてから押します。

3 乾電池を入れ、ふたを付ける

＋－の向きを正しく！

4 現在時刻を合わせる

（10ページ）

- 長期間ご使用にならない場合は、乾電池を取り出してください。
- アルカリ乾電池の交換は、1年がめやすです。乾電池の寿命が近づくとリモコンの表示部がうすくなったり、受信距離が短くなります。このような場合は、乾電池を新しいものと交換してください。
- 付属の乾電池はモニター用ですので、1年に満たないうちに消耗することがあります。
- ご使用後の乾電池は指定の場所に捨ててください。
- アルカリ乾電池以外は使用しないでください。誤作動する場合があります。

お願い

- **リモコンは、水のかかるところや、冷温風や日光が直接当たるところや、加湿器・熱源（電気カーペットやストーブなど）の近くには置かないでください。**
  また、電子瞬時点灯方式またはインバーター方式の蛍光灯やAV機器がある部屋では、信号を受け付けないことがあります。このような場合は、お買いあげの販売店にご相談ください。
- リモコン表示部の内容を室内ユニットに送信します。操作の前に表示をご確認ください。

現在時刻の合わせかた

● ドット表示が正常に表示されませんので、現在時刻は必ず合わせてください。

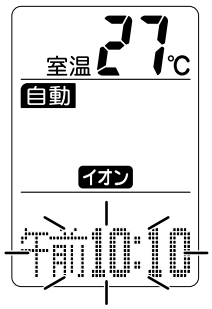
▼カバーを開ける

リモコンに乾電池を入れた後は、午後0:00が点滅しています。

（例）午前10時10分に合わせる場合

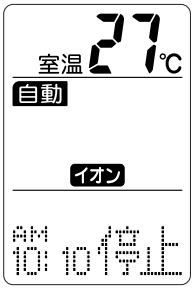
1 入 を押し、「午前 10:10」に合わせる

（▲すすむ、▼もどる）
時刻は１分単位で設定できます。
押し続けると10分単位で早送りになります。



2 時計 を押す

現在時刻セット完了です。



（ご使用中に現在時刻を修正する場合は、時計 を押して、時刻表示が点滅してから、上の手順で行います。）

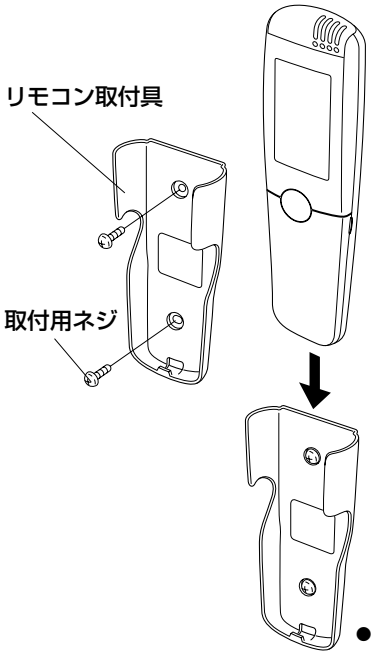
リモコンの取り付けかた

壁などに取り付けてご使用の場合

つぎのように、取り付ける位置で確認してから取り付けてください。
（このとき室内ユニットから“ピー”という受信音がします。）

● 運転 停止 を押し、エアコンが作動すること。

● おしえて を押し、リモコンのドット表示部に本体からのデータが正しく表示されること。



● 上から取り付ける。

● はずすときは上へスライドさせる。

お願い

- リモコンを手もとでご使用の場合、操作するときや運転中は、送信部を室内ユニットの受信部に向けてください。
- 受信部とリモコンの間に、信号をさえぎるようなものを置かないでください。

センサーボタンについて

● 体感センサーは5分に1回、リモコン周りの温度中心の室温制御をし、本体センサーは30秒に1回、本体中心にきめ細かな室温制御をします。リモコン制御で支障をきたす場合は センサー を押し、本体センサーに切り換えることをおすすめします。
本体センサーに切り換えると、表示部に 本体センサー が表示されます。

自動／暖房／ドライ／冷房／空気清浄単独運転

自動運転
エアコンがそのお部屋の状況に合った運転の種類を自動的に選び、温度･風量･風向きを自動調節し、運転します。

暖房／ドライ／冷房運転
おこのみの運転内容に設定できます。また、その内容はリモコンに記憶され、次回運転の際も有効です。

空気清浄単独運転
空気清浄フィルター（ご使用の場合）で空気中のチリ、ホコリを取り除き、タバコの煙やにおいを軽減する送風運転をします。

▼カバーを開ける

1 運転の種類を選ぶ

運転切換

運転切換 を押すごとに順次運転の種類が変わっていきます。

表示部

自動 → 暖房 → ドライ → 冷房 → 空清

ドット表示

自動 → 暖房 → ドライ → 冷房 → 空清

2 運転する

運転・停止

ピーピー

運転・停止 を押してください。

ドット表示例

自動 → 設定標準 → 自動

（自動選択時）

自動選択時にリモコンと本体の信号が正しく送受信されると、表示部にそのときの運転の種類が表示されます。

表示部

自動 暖房

- 信号が正しく送受信されなくなると表示は消えますが、本体は運転を継続します。

運転を停止するときは

もう一度、運転・停止 を押してください。

ドット表示

停止

温度調節

ピー

設定温度を変えたいとき ▼ ▲

運転中に温度を調節する

下げたいとき ▼ ▲ 上げたいとき

押すごとに1℃ずつ変化します。

ドット表示

設定16℃ ⇔ 設定30℃

- 自動運転時には、標準温度から＋4℃（高め）から－4℃（低め）の範囲で変更できます。（冷房時の上限は30℃です。）
- 暖房/ドライ/冷房運転時、設定できる温度は16℃から30℃までです。
（暖房・ドライ・冷房とも共通の設定にしているため、設定幅が広くなっておりますが、設定温度によっては、外気や室温の温度条件などからエアコン内部の保護がはたらき、希望の温度にならない場合があります。）

メモ

自動運転時の設定標準温度

運転の種類	設定標準温度
暖　房	24℃
ドライ	運転開始の温度（20℃～26℃の範囲）
冷　房	27℃

自動運転の場合

- 他室がすでに運転している場合は、他室の室内ユニットと同じ運転の種類になります。

室内ユニットのランプが点灯

- **運転ランプ**
- **UV･クリーンランプ**
- **イオンランプ**（イオン入の場合）
- **給気または排気ランプ**（状況に応じて点灯）

運転ランプ	暖　房	赤　色
	ドライ	橙　色
	冷　房	緑　色
	空気清浄	緑　色

- **UV・クリーンランプ**は30分間点灯、1.5時間消灯をくり返し、また運転停止後には**排気ランプ**と連動して30秒間点灯します。

- 変更温度は運転停止後も記憶されています。
- ドライ運転中に設定温度を下げ、冷房運転に切り換わった場合は、3分間室外ユニットが停止します。
- ドライ運転時、室温より設定温度が高い状態で運転すると、湿度が下がらない場合があります。この場合は、設定温度を現在の室温より下げてご使用ください。
- 室温制御は設定に対し、±2℃の中で安定するように制御しています。このため、リモコン表示は設定温度とずれることがあります。安定する前に±2℃の範囲を超えることもあります。

- **風向・風量を調節したいとき** *（12ページ）*

くわしい説明 *（25ページ）*

風向調節／風量調節

暖気・冷気のかたよりを調節できます。

風向自動時（上下・左右とも）には、イオン立体気流制御を行います。
（表示部に 立体気流 が点灯）
(26ページ)

▼カバーを開ける

風向調節

上下の風向きを変えたいとき

ピー

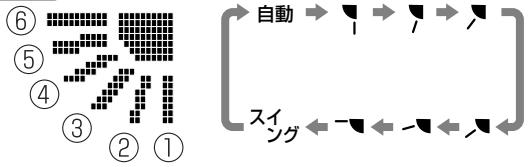
風向

運転中に 風向 を押す

▼

押すごとにつぎのように切り換わります。

ドット表示



● ルーバーの可動範囲は、運転の種類によって異なります。 *(25ページ)*

左右の風向きを変えたいとき

ピー

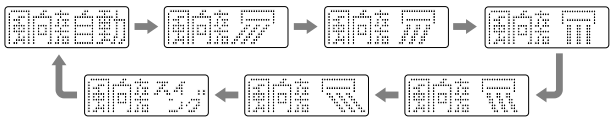
風向

運転中に 風向 を押す

▼

押すごとにつぎのように切り換わります。

ドット表示



風量調節

風量を変えたいとき

ピー

風量

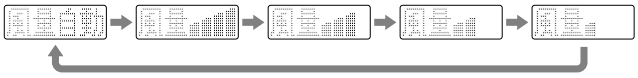
運転中に 風量 を押す

▼

押すごとにつぎのように切り換わります。

ドット表示

強　中　弱　微弱



● ドライ運転中の「強」「中」は、冷房の「強」「中」より風量が小さくなります。

お願い

- 風向調節は、必ずリモコンで操作してください。手で直接操作すると、ルーバーがリモコンの設定位置とずれる場合があります。正常にもどすには、リモコンでいったん運転を停止させ、ルーバーが閉じてから再運転をしてください。
- 冷房・ドライ運転時、梅雨どきなどの湿度の高いときにたて羽根を大きく左右に曲げて使用すると吹出口付近に露が付着したり、滴下することがあります。たて羽根をまっすぐの位置にしてください。

- 風向設定は前回の位置を記憶しています。
- リモコン表示はめやすですので、実際の角度とは異なります。
- スイング（上下）にすると、上ルーバーは2枚が交互に動き、下ルーバーもわずかに動きます。
- 本体のルーバー位置⑥は水平よりも、若干下向きになります。
- 上ルーバーの位置ずれや動作スピードは、左右でずれることがありますが、異常ではありません。
- 運転停止後、ルーバーが閉じた後、モータ音がすることがありますが異常ではありません。

- たて羽根の振り角度は、エアコン据付位置つまみの設定と運転の種類によって、異なります。
- 停止後は、いったん左を向いてから設定位置にもどります。

- 暖房運転開始時、冷風防止機能がはたらいている場合は、風量の変更はできません。
- 暖房運転時、室温が設定温度に到達すると熱交換器温度が低くなるため冷風防止機能がはたらき、おこのみの風量の変更ができないことがあります。この場合は設定温度を上げてください。
- 「自動」は風量が自動的に切り換わります。

風向・風量調節について

- 暖房運転開始時、冷風防止機能がはたらいているときは、吹出温度が高くなるまでルーバー⑥の位置になります。この間はリモコンで操作しても、ルーバーは動きません。吹出温度が高くなると暖房運転使用範囲になります。
- UV・除菌ホコリカット機能により、風向自動（上下）・風量自動で運転開始時には、30秒間ルーバーは⑥よりさらに上になり、弱風で運転します。このとき、たて羽根はリモコンで操作しても動きません。
- 運転切換 を押すと風量は自動に、風向（上下）は風向自動時のルーバー位置、風向（左右）は前回の位置になります。
- 冷房運転中に風量が上昇する場合があります。

換気運転

●換気運転はエアコン運転中に行う併用換気運転と、エアコン停止中に行う単独換気運転ができます。運転中・停止中にかかわらず、お部屋の空気をおこのみによって入れ換えることができます。

併用換気運転
エアコン運転中にお部屋の空気を入れ換えることができます。

単独換気運転
エアコン停止中にお部屋の空気を入れ換えることができます。

換気運転の内容

自動換気
CO_2濃度と室内外の温度差で自動的に給気・排気をコントロールします。

強制換気
CO_2濃度にかかわらず、連続で換気運転を行います。

▼カバーを開ける

併用換気運転をしたいとき

ピー

換気

エアコン運転中に 換気 を押す

▼

ドット表示

自動換気 ➡ 強制換気 ➡ 換気 切

換気を押すごとに変わっていくので「自動」または「強制」を選びます。

- さらに換気（給排切換）で給排・排気・給気が選べます。

ドット表示例
（自動選択時）

自動給排 ➡ 自動排気 ➡ 自動給気

換気運転だけを停止したいとき

- 換気を押して「換気 切」を選びます。

（運転・停止を押すと、エアコン運転も換気運転も停止します。）

単独換気運転をしたいとき

ピー

換気

エアコン停止中に 換気 を押す

▼

ドット表示

自動換気 ➡ 強制換気 ➡ 換気 切

換気を押すごとに変わっていくので「自動」または「強制」を選びます。

- さらに換気（給排切換）で給排・排気・給気が選べます。

ドット表示例
（自動選択時）

自動給排 ➡ 自動排気 ➡ 自動給気

換気運転を停止したいとき

- 換気を押して「換気 切」を選びます。

- リモコンの初期設定は自動給排が設定されています。CO_2濃度と室内外温度差によって自動的に給排運転を行います。
- 併用換気運転時、換気の設定にかかわらず、UV・除菌ホコリカット機能、UV・除菌カビガード機能がはたらいているときは、強制排気を行います。
- 併用換気運転中、霜取機能がはたらき室内ファンが停止したときには、給気ファン、排気ファンともに停止し、換気監視状態になり、給気・排気ランプも消えます。
- **UV・クリーンランプ**は30分間点灯、1.5時間消灯をくり返し、また運転停止後には**排気ランプ**と連動して30秒間点灯します。

室内ユニットのランプが点灯
- **運転ランプ**
- **UV・クリーンランプ**
- **イオンランプ**（イオン入の場合）
- **給気または排気ランプ**（状況に応じて点灯）

- **UV・クリーンランプ**は30分間点灯、1.5時間消灯をくり返し、また運転停止後には**排気ランプ**と連動して30秒間点灯します。
- 単独換気運転した場合、運転開始後12時間以上経過した場合には、運転を停止します。
- 単独換気運転中にエアコン運転のタイマー予約ができます。

メモ

- CO_2濃度を検知するCO_2センサーは、室外ユニットの電源を入れてから1時間は機能しません。
- 換気運転することによって、室温が若干変化することがあります。
- 外気やお部屋の状況によってはニオイがすることがあります。

ハイパワー運転/UV空気清浄運転

ハイパワー運転
夏のお買い物帰りやお風呂あがりに、また冬の帰宅時などにお使いください。

UV空気清浄運転
運転中、停止中にかかわらず、お部屋の空気をきれいにします。

ハイパワー運転

ピー

ハイパワー

ハイパワー を押す

▼

表示部に ハイパワー が表示されます。

取り消したいとき

運転 停止 を押す

ドット表示

PM 2:30 停止

UV空気清浄運転

ピー

UV空清

UV空清 を押す

▼

表示部に UV 空清 が表示されます。

ドット表示

UV空清 → PM 2:30 空清

取り消したいとき

運転 停止 を押す

ドット表示

PM 2:30 停止

ハイパワー運転について

- 暖房運転時、ハイパワー を押してから15分間は、最大能力で室内を一気に暖めます。
- 冷房・ドライ運転時、ハイパワー を押してから、15分間は最大能力で室内を一気に冷やします。風量は強風よりも1段階強くなります。
  （リモコンに表示は出ません。）

☜ 室内ユニットのランプが点灯

- **運転ランプ**
- **UV・クリーンランプ**
- **イオンランプ**（イオン入の場合）
- **給気または排気ランプ**（状況に応じて点灯）
- **UV・クリーンランプ**は30分間点灯、1.5時間消灯をくり返します。

UV空気清浄運転について

- UV・除菌ユニットが作動し、室内ファンは送風状態になります。

☜ 室内ユニットのランプが点灯

- **運転ランプ**
- **UV・クリーンランプ**
- **イオンランプ**（イオン入の場合）
- **給気または排気ランプ**（状況に応じて点灯）
- 運転中、運転切換 はできません。
- 運転停止後は、もとの運転の種類および設定内容にもどります。
- UV空清 はすべての運転に対して最優先します。

入タイマー・切タイマー

タイマー予約をするときは、必ずリモコンの現在時刻が正しく合っていることを確認してください。

入タイマー
設定した時間に運転を開始します。

切タイマー
設定した時間に運転を停止します。

▼カバーを開ける

1 タイマー予約をする

入 タイマー 切

入または切を押してください。
表示部が予約時刻表示になります。

入タイマー表示例

切タイマー表示例

2 予約時刻を設定する

入 タイマー 切

入または切を押し、続けて予約時刻を設定します。
（▲すすむ、▼もどる）時刻は10分単位で設定できます。押し続けると早送りになります。

- 予約後、「入タイマー」または「切タイマー」の点滅が点灯に変わり、設定が終了します。

入タイマー・切タイマーを組み合わせたいとき

入タイマー・切タイマーをそれぞれセットする

ドット表示例

予約時刻を変更したいとき

入または切を押して時刻を変更する

予約を取り消したいとき

- **取消を押す**
- **入タイマーまたは切タイマーのどちらかを取り消すときは、取り消したいほうのタイマーボタンを押してから取消を押す。**

ドット表示

タイマーを毎日同じ時刻にお使いになるとき

- **1回/毎日を押す**

表示部に毎日が表示されます。
もう一度押すと、1回だけの設定となります。

☞ 室内ユニットの**タイマーランプ**が点灯

- タイマー予約は、運転中、停止中どちらでもできます。

タイマーについて

- タイマー予約中は、停止中でも風向・風量・設定温度の変更が可能です。入タイマー予約中に運転を停止しても、予約を取り消さない限り、設定時間になると運転を開始します。
- 1回/毎日で1回のみのタイマーを選ぶと切り忘れ防止として、入タイマーの設定時間後、25時間以上リモコン操作がない場合には、運転を停止します。
- 併用換気運転中に切タイマーを設定し、設定時間になるとエアコン運転・換気運転とも停止します。
- 単独換気運転中に入タイマーを設定し、設定時間になるとエアコン運転が開始します。

☞

- 組み合わせタイマーは現在時刻を基準にして、セット時刻が早いほうから先に作動します。

1・2・3・5Hタイマー運転

1・2・3・5Hタイマー運転
運転中、停止中にかかわらず、選択した時間だけ運転しますので、切り忘れの心配がありません。

1・2・3・5Hタイマー運転

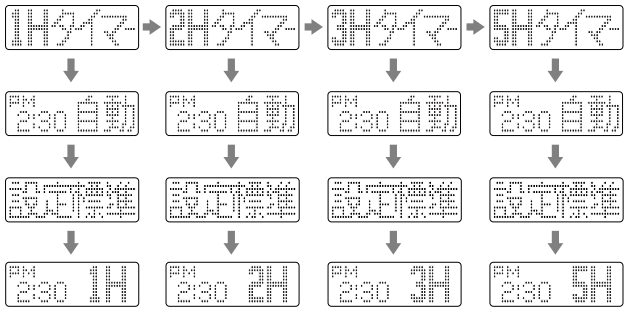
ピピー

1・2・3・5H タイマー を押すごとに順次タイマー運転時間が変わっていきます。

▼

表示部に 1・2・3・5H が表示されます。

ドット表示はつぎのように変化します。



取り消したいとき

運転 停止 を押す

- 1・2・3・5Hタイマー運転中に 1・2・3・5H タイマー を押すと、設定時間後に運転を停止します。
- 切タイマー中に 1・2・3・5H タイマー を押すと、設定時間後に運転を停止し、切タイマーは取り消されます。
- 1・2・3・5Hタイマー運転と切タイマーは、後押し優先になります。
- 入タイマー中に 1・2・3・5H タイマー を押すと1・2・3・5Hタイマー運転が優先します。1・2・3・5H タイマー で設定した時間内に入タイマーの設定時間がきた場合、入タイマーは無視され、そのまま運転を続けます。
- 停止中に 1・2・3・5H タイマー を押すと**UV・クリーンランプ**が点灯しますが、運転30分以上経過後に 1・2・3・5H タイマー を押した場合には点灯しません。

UV・除菌クリーン運転/チャイルドロック/快眠運転

UV・除菌クリーン運転
暖房運転してエアコン内部を乾燥させ、カビの発生をおさえます。

チャイルドロック
お子さまのいたずらや誤操作を防ぎます。

快眠運転
おやすみ中も快適な環境にしてくれる機能です。
通常よりもおさえた運転音で室温をコントロールします。

▼カバーを開ける

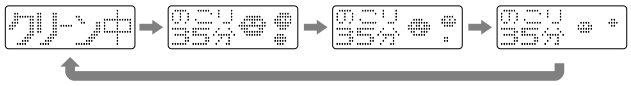
UV・除菌クリーン運転

UV・除菌 クリーン

停止中に UV・除菌 クリーン を押す

▼

ドット表示はつぎのように変化し、1分ごとに残り時間を表示します。



取り消したいとき

UV・除菌 クリーン をもう一度押す

ピー

室内ユニットの**UV・クリーンランプ**と**排気ランプ**が点灯

UV・除菌クリーン運転について

- 弱風で暖房運転を行い、35分後に運転を停止します。
- 冷房・ドライ運転直後のご使用が効果的です。
- 冷房・ドライ運転直後には室温・湿度が上がります。
- お部屋ににおいが出てくる場合がありますので、窓やドアの開放や換気扇などで、換気をしてください。
- 運転中のリモコン操作は UV・除菌 クリーン のみ有効です。

くわしい説明 *(25ページ)*

チャイルドロック

チャイルドロック (2秒押す) を2秒以上、長押しする

▼

ドット表示はつぎのように表示されます。

取り消したいとき

チャイルドロック (2秒押す) をもう一度、2秒以上長押しする

▼

ドット表示はつぎのように表示されます。

- チャイルドロックにするとすべての操作ができなくなり、ボタン操作時には チャイルドロック と表示されます。
- 運転中にチャイルドロックにした場合、温度 ▲ ▼、風向 ◀▶、風向 ◀▶、風量 を押すと設定変更はできませんが、それぞれの設定確認をすることができます。

快眠運転

快眠

運転中に 快眠 を押す

▼

表示部に **快眠** が表示されます。

取り消したいとき

快眠 をもう一度押す

ピー

- 室内ユニットの表示ランプを減光します。(お部屋が明るいときは、ランプが見づらくなります。)
- 室内外ユニットの風量を自動的に下げ、運転時の送風音をおさえます。
- 1時間後の設定温度を冷房・ドライ時は1℃高く、暖房時は3℃(2時間後さらに4℃)低くします。(ドライ時、ドライ能力をおさえた運転をするため、湿度表示が合わない場合があります。)

イオン切換／応急運転

イオン切換
運転中に発生するマイナスイオンの入切を切り換えます。

応急運転
リモコンが見つからないときや、乾電池が切れているときに運転できます。

▼カバーを開ける

イオン切換

ピー

イオン

イオンを押す

▼

表示部にイオンが表示されます。

取り消したいとき

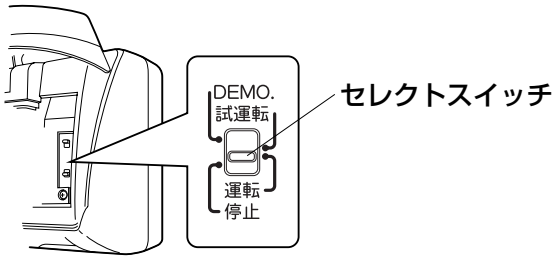
イオンをもう一度押す

☞
運転中は室内ユニットの**イオンランプ**が点灯

- リモコンの初期設定はイオン入が設定されています。
- マイナスイオンは、マイナスイオン発生針から発生されます。

応急運転

本体のセレクトスイッチを一度「停止」の位置にしてから、「運転」の位置にもどす



停止したいとき

セレクトスイッチを「停止」の位置にする

リモコン操作にもどすとき

セレクトスイッチを「運転」の位置にして、リモコンで操作する

☞
室内ユニットの**運転ランプ**と、**UV・クリーンランプ**が点灯

- **UV・クリーンランプ**は30分間点灯、1.5時間消灯をくり返します。
- 運転の種類は自動運転になります。

（11ページ）

おしえてボタン

おしえてボタン
運転中のお部屋の湿度、外気温度、換気運転の給気・排気の運転状態、CO_2濃度を確認することができます。

おしえてボタン

おしえて

運転中に おしえて を押す

▼

ドット表示はつぎのように変化します。

データ受信が正常に行われた場合（例）	データ受信が正常に行われなかった場合
受信中	受信中
▼	▼
湿度65%	
↓	↓
外気28℃	
↓	↓
給気	？？？
↓	↓
CO_2	もう一度
↓	
PM 2:30 暖房	

- 運転中に おしえて を押すと、運転時の部屋の湿度、外気温度、換気運転の給気·排気の運転状態、CO_2濃度のデータを本体から受信し、ドット表示でお知らせします。

温度・湿度のドット表示範囲

外気の温度	−19℃以上
部屋の湿度	40%〜80%（5%刻みで表示）

上記以外では、▼マークが表示されます。

給排状態	ドット表示
監　視 ※	換気 ↕ 換気
排　気	排気
給　気	給気
停　止	換気 切

※自動換気が選ばれていてCO_2濃度が低いときは、給気・排気ランプは点灯しません。

CO_2濃度	ドット表示
高	CO_2
中	CO_2
低	CO_2

- CO_2センサーは室外ユニットの電源を入れてから1時間は機能しませんので、CO_2濃度の確認をすることができません。
- もう一度 をくり返して正常に受信されないときは、受信状態を確認してください。
- ドット表示は上記のほかにつぎのような場合もあります。

温　度	ドット表示
−19℃以下	外気-19℃

湿　度	ドット表示
80%以上	湿度80%
40%以下	湿度40%

- 停止中は、ドット表示部に 換気切 が表示され おしえて は機能しません。

お手入れのしかた

日ごろのお手入れが、エアコンを長持ちさせるヒケツです。こまめなお手入れを心がけましょう。

お手入れの前に（掃除を業者に依頼するときは、お買いあげの販売店にご相談ください。）

エアコン本体を掃除するときは停止する

- 掃除するときは必ず運転を停止にしてください。内部でファンが高速回転しているため、ケガの原因になることがあります。

エアコンは直接水洗いをしない

- エアコンを水洗いしないでください。故障・感電・火災の原因になることがあります。

不安定な踏み台などは使用しない

エアコン内部にあるCO_2センサー、湿度センサーには、水などは絶対にかけない

- CO_2センサー、湿度センサーが正しく機能しなくなるおそれがあります。

シンナー・ベンジン・アルコール・中性以外の洗剤・40℃以上のお湯は、使用しない

- 変形・変色の原因になります。
  室内ユニット・リモコンには、絶対に水をかけないでください。（故障や感電のおそれがあります。）

UV・除菌ユニットの中のUVランプが点灯中は、前面パネルを開けない

長期間使わないとき

- 暖房運転または空気清浄単独運転、UV・除菌クリーン運転をして、カビが生えないよう機械内部を乾燥させます。
- エアフィルターを掃除し、空気清浄フィルター（ご使用の場合）、換気フィルターの汚れ具合を点検します。
- 運転を停止してください。
- リモコンの乾電池を取り出します。

再び使い始めるとき

- リモコンの乾電池を入れてください。
  （9ページ）

確認してください

- エアフィルターと空気清浄フィルター（ご使用の場合）、給気フィルターは付いているか。
- 室内・室外ユニットの吹出口や吸込口をふさいでいないか。
- アース線ははずれていないか。
- ドレンホースの先端にゴミやホコリがつまっていないか。

エアコンのクリーニング依頼について

- エアコンのクリーニングをご依頼の場合は、必ずお買いあげの販売店または、もよりの「お客さまご相談窓口」にご相談ください。

エアコン用洗浄スプレー（洗浄剤）のご使用について

- 市販のエアコン用洗浄スプレー（洗浄剤）をご使用になる場合、洗浄成分により故障の原因になることがあります。（電装部品、樹脂の割れなど）
  洗浄剤をかける時は、熱交換器に取り付けられている排気ユニットを取りはずす必要があります。
  ご使用になるときは、洗浄剤メーカーにお問い合わせください。

お手入れのしかた

本体・リモコンのお手入れ

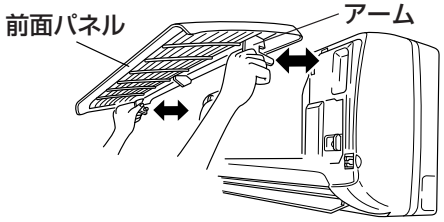
柔らかい布でからぶきします。

- 汚れがひどい場合は、水ぶきしてください。
  リモコンはボタン類のすきまから水などが入らないようにご注意ください。
- **UV・除菌ユニットの表面などのエアコン内部に付いたホコリは、前面パネルを全開にした状態で、掃除機などで吸い取ります。**
- 前面パネルは、取りはずして水洗いすることができます。

前面パネルの水洗いのしかた

1 前面パネルをはずす

前面パネルを全開にした状態で、両手でアームを持って手前に引きます。(はずしにくい場合は、パネルの両端を持って行ってください。)

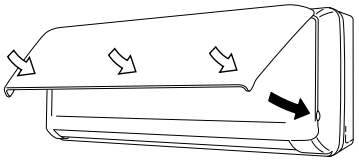


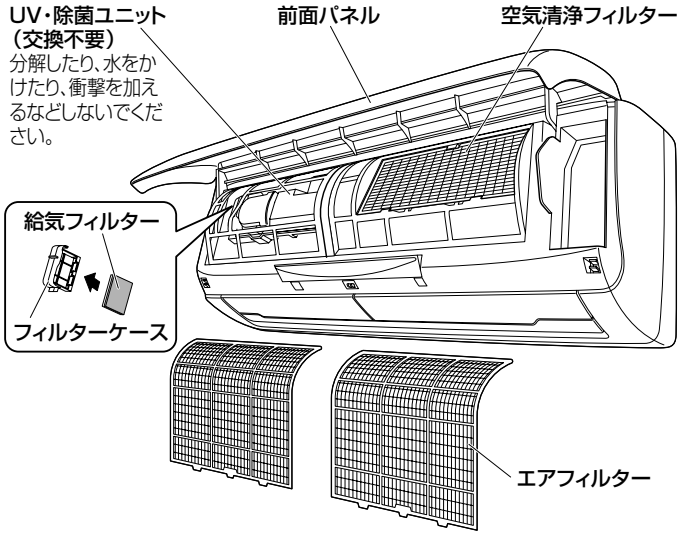
2 前面パネルを洗う

柔らかいスポンジのようなもので軽く洗い、水気を十分ふき取ってください。
汚れがひどい場合は中性洗剤を使用し、その後よく水洗いをしてください。

3 前面パネルの取り付け

前面パネルをほぼ水平にして、アームの軸を本体のくぼみの上部に挿入し、突き当たるまで押して、はめ込みます。
前面パネルの両端を持ってパネルを閉じてから、矢印部分(⇩)を押して固定します。





お手入れのめやす

エアフィルター

2週間に一度をめやすに掃除してください。

空気清浄フィルター

空気清浄フィルターは水洗いすることができますので、3ヵ月ごとをめやすに行ってください。
また、交換のめやすは3年です。

給気フィルター

給気フィルターは水洗いすることができますので、2週間に一度をめやすに行ってください。
また、交換のめやすは半年です。

エアフィルターのお掃除

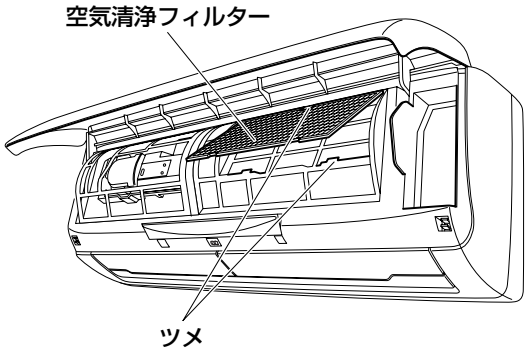
エアフィルターを取り出し、掃除機をかけてから水洗いします。

水洗いした後は、日陰でよく乾かしてください。

空気清浄フィルターの取り付け、交換、お手入れ

取り付け、または交換のしかた

右側のエアフィルターを取り出してから、空気清浄フィルター取付位置のツメの下に入れて取り付けます。

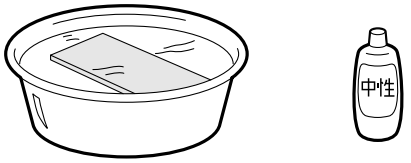


上側のツメから入れてセットする。

お手入れのしかた

①掃除機（弱）でホコリを吸い取る。
②中性洗剤を500倍程度（※）ぬるま湯でうすめた中に、つけおき洗いする。（洗剤のにおい残りを軽減するため、台所用洗剤をおすすめします。）

空気清浄フィルター：1〜2分



※ 洗面器1杯に対して洗剤1〜2滴程度

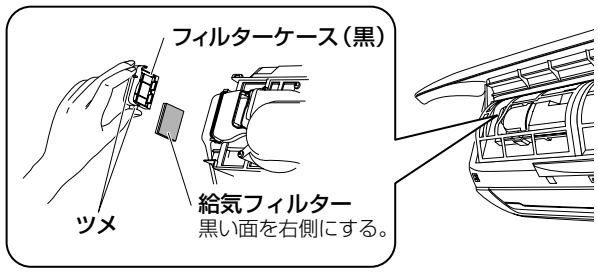
③軽くなで洗いや振り洗いをした後、水でよくすすぐ。
④平らに置いて、室内乾燥する。
（タオルなどを下に敷くことをおすすめします。）

- 汚れ具合によっては、表面に黒ズミが残りますが、効果に影響はありません。

給気フィルターの取り付け、交換、お手入れ

取り付け、または交換のしかた

左側のエアフィルターを取り出してから、フィルターケースのツメを持ってフィルターケースをはずします。
フィルターケースに給気フィルターの2枚（黒白）を重ねて取り付け、もとのようにもどします。



お手入れのしかた

給気フィルターのお手入れは、必ずフィルターケースに取り付けたまま行ってください。
ホコリをはらってから振り洗いをした後、日陰でよく乾かしてください。

お願い

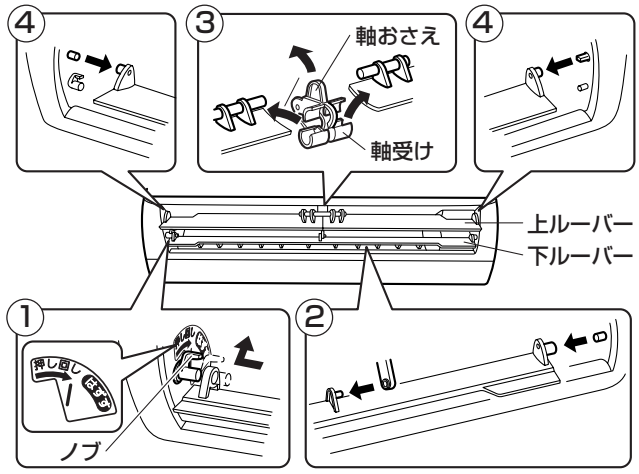
- 空気清浄フィルターのお手入れは、折り曲げたり、強い力を加えたりしないでください。
- 目づまりが取れにくかったりいたんだ場合は、空気清浄フィルターを交換してください。交換用の空気清浄フィルターおよび給気フィルターは、お近くの販売店でお求めください。
  （形名は30ページの別売品を参照）
- 使用済みの空気清浄フィルターは燃えるゴミとして処理できますが、地方自治体によって異なりますので、ご注意ください。
- 運転時には、必ず給気フィルターを取り付けてご使用ください。
- 給気フィルターは2回分付属されていますので、残りの1回分は使用するまで袋から出さないでください。

お手入れのしかた（室内ユニット吹出口）

室内ユニット吹出口のルーバーとたて羽根は、取りはずしてお手入れができます。
また、ファンなどエアコン内部のお掃除もしやすくなっています。
● 掃除するときは必ず運転を停止してください。また、ファンが停止していることを確認してください。

ルーバー・たて羽根の取りはずしかた

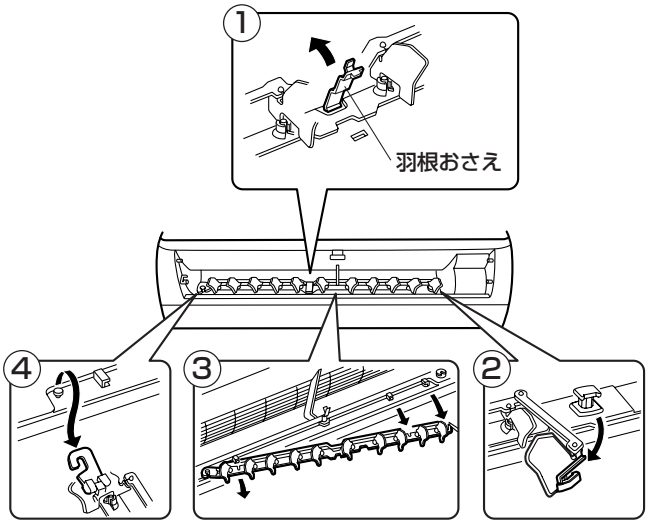
● **必ず下ルーバーから取りはずしてください。**



1 運転を停止し、室外ユニットの漏電ブレーカを落としてから、ルーバー（上・下）を下向きにする

2 ルーバー（上・下）を取りはずす

① 下ルーバーの左端のノブ（黒）を左に押して回し、はずす位置に固定します。
② 下ルーバーを中央の支柱と右の軸からはずして取ります。
③ 軸おさえのつまみ（黒）を上へ押して軸おさえが開いたら、上ルーバーの中央部を軸受けからはずして手前に引きます。
④ 上ルーバーをそれぞれの軸からはずして取ります。



3 たて羽根を取りはずす

① 中央の羽根おさえ（黒）をパチンと上にはずします。
② 右端の羽根（黒）を持って、手前に引いてはずします。
③ 右から2番目の羽根を持って、手前に引いてはずします。
④ 左端の引っかけ部分から、たて羽根をはずします。

ルーバー・たて羽根のお掃除

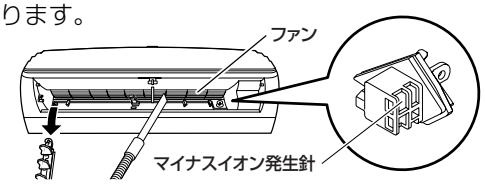
● 柔らかい布でからぶきするか、または水ぶきしてください。また、水洗いすることもできます。
※ ルーバーの支柱部分の潤滑材はふき取らないでください。

水洗いのしかた

● 柔らかいスポンジのようなもので軽く洗い、水気をじゅうぶんふき取ってください。汚れがひどい場合は中性洗剤を使用し、その後よく水洗いをしてください。

エアコン内部のお掃除

● 掃除中は下ルーバーの左端のノブをもどさないでください。
● 柔らかい布でからぶきするか、または水ぶきしてください。
● ファンの表面に付いたホコリは、掃除機などで吸い取ります。

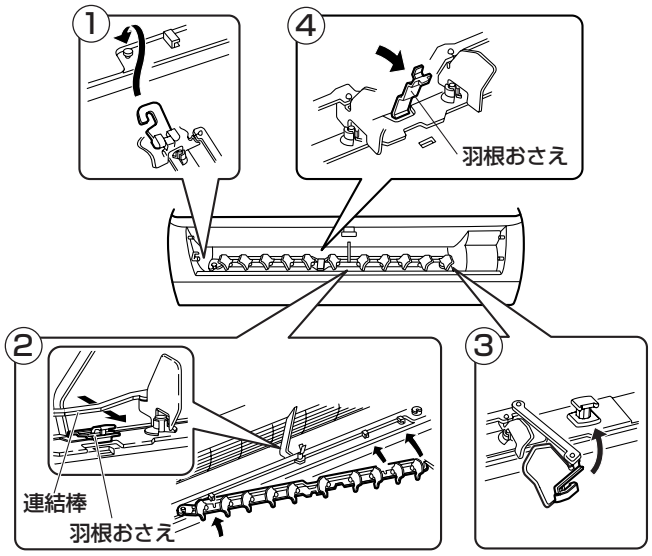


- マイナスイオン発生針に当たらないようにしてください。
- ファンの回転に注意し、ファンを傷付けないようにしてください。
- 目にゴミが入らないようにご注意ください。

● こびりついた汚れのひどいものは販売店にご相談ください。

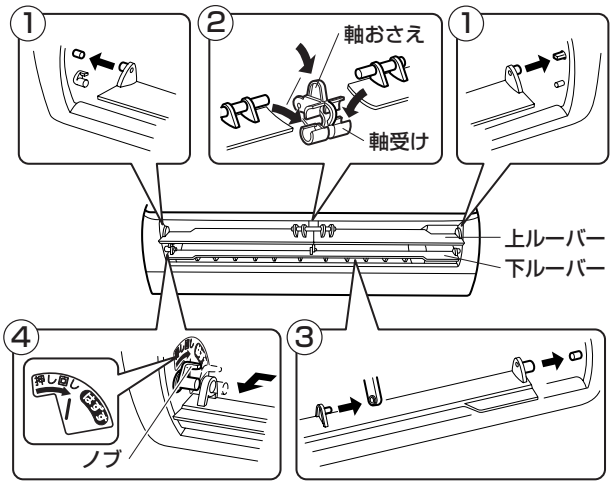
ルーバー・たて羽根の取り付けかた

● **ルーバーが正しく取り付けられていないと、すべてのランプが点滅して運転できません。必ず以下のとおりに行ってください。**
上ルーバーの位置ずれや動作スピードは、左右でずれることがありますが、異常ではありません。



1 たて羽根を取り付ける

① たて羽根の左端を引っかけ部分にかけます。
② たて羽根を持って、室内ユニットのツメ3箇所にはめ込み、全体を確実に押し込みます。（このとき、羽根おさえを羽根の連結棒の間にくぐらせるようにします。）
③ 右端の羽根（黒）を切欠きが奥になるように持って、レールにそってはめ込みます。
④ 羽根おさえ（黒）で留めます。



2 ルーバー（上・下）を取り付ける

上ルーバーは左右の形状が異なりますので、左右を確認してください。
① 上ルーバーの端をそれぞれの軸にはめ込みます。
② 上ルーバーの中央部を軸受けにのせ、軸おさえ（黒）を閉じます。
③ 下ルーバーを中央の支柱と右の軸にはめ込みます。
④ 左端の軸（黒）に下ルーバーの穴位置を合わせ、ノブ（黒）を手前に押しもどして、下ルーバーを固定します。

3 室外ユニットの漏電ブレーカを入れる

マイナスイオン発生針のお手入れ

汚れが付いたら行ってください。

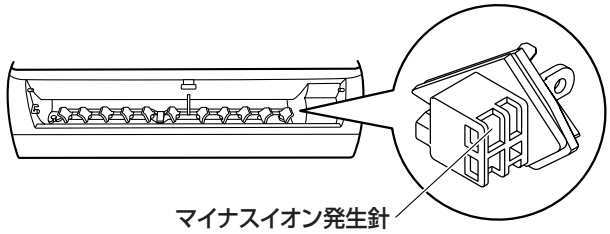
準備 ● リモコンで、必ず運転を停止する。
● 室外ユニットの漏電ブレーカを落とす。

1 ルーバー（上・下）を取りはずす

2 マイナスイオン発生針のホコリを取る

● 先端を歯ブラシなどでこすってください。
● 針の周辺は綿棒などで掃除してください。

3 ルーバー（上・下）を取り付ける



● ご使用になるうちに、マイナスイオン発生針などの金属部が変色することがありますが、異常ではありません。また、マイナスイオン発生針周辺が汚れ、そのまま放置されるとブツブツ音がしますので、ただちに掃除してください。
● お手入れの際には、無理な力を加えないでください。

エアコンのくわしい説明

空気清浄単独運転では

- 風量、風向（上下・左右とも）が自動の場合には、風量は「弱」、上ルーバーは交互にスイングし下ルーバーは下向きになり、たて羽根もスイングになります。※
- 風量、風向は 風量 ・ 風向 ・ 風向 を押して変更できます。※
- 通常運転中にも、空気清浄機能がはたらいています。（空気清浄フィルターをご使用の場合）
- 他の室内で暖房運転中は暖かい風が出ることがあります。また他の室内で冷房中にも、冷たい風が出ることがあります。※他の室内で暖房運転中は、風速は微風となります。

アドレス切換について

- 弊社エアコンを2台隣接設置するときに切り換えると、リモコンの混信を防止します。通常はAにセットしていますので、アドレス切換が必要な場合は、以下の手順で行ってください。
  ① リモコン裏面のふたを開け、アドレス切換のツメを折ってBに切り換える。
  ② リモコンに乾電池を入れて、ふたを付ける。
  ③ 室内ユニットの前面パネルを開けて、セレクトスイッチを「DEMO.」の位置にする。
  ④ セレクトスイッチを「運転」の位置にして、前面パネルを閉じる。
  ⑤ リモコンを操作し、室内ユニットから“ピー”と受信音が出ることを確認する。

運転時のニオイカット機能について

- 冷房･ドライ運転の風量自動で運転開始時に約40秒間、室内ファンの運転を遅らせます。また、ルーバーはスイングしません。これは、エアコンに付着したりいろいろなにおいが、風とともに出てくるのを軽減するためです

UV・除菌クリーンシステムについて

- このシステムは、運転開始時にホコリが出るのをおさえる「UV･除菌ホコリカット機能」、運転停止後にエアコン内部のカビの発生をおさえる「UV･除菌カビガード機能」、運転停止中に行う「UV･除菌クリーン運転」の3つの機能により、室内ユニット内部をクリーンに保ち、エアコンから吹き出す空気をきれいにします。また、それぞれの機能が動作中には、UVランプが点灯します。
- 室内ユニット内部にあるUV・除菌ユニットの、除菌フィルターのはたらきによって除菌します。
- 運転開始時にはUV･除菌ユニットが作動し、30分間UVランプが点灯します。さらにUV･除菌ユニットを効果的に発揮させるために、1.5時間経過したのち再び30分間UVランプが点灯し、運転中はランプの点灯・消灯をくり返します。（UVランプを目視することはできません。）
- UV・クリーンランプが点灯中は、前面パネルを開けないでください。
- お部屋の明るさによっては、UVランプの光がエアコン内部に反射して見えることがありますが、異常ではありません。
- お部屋をきれいにしたり、すでに発生しているカビやホコリを取ることはできません。

UV・除菌ホコリカット機能

- 風向自動・風量自動時の運転開始時に30秒間、UV･除菌ユニットと排気ファンが作動し、運転開始時のホコリが出るのをおさえるため弱風で運転し、エアコンから吹き出す風を本体にもどすエアショートを発生させ、室内ユニットに付いたホコリをフィルターで取りのぞきます。この間、UV・クリーンランプと排気ランプが点灯します。
- 冷房・ドライ運転時ではニオイカット、暖房運転時では冷風防止機能が優先し、その後機能します。

UV・除菌カビガード機能

- 停止後、室内ユニット内部のカビの発生をおさえるため、UV･除菌ユニットと排気ファンが30秒間弱風で送風運転をし、ルーバーはファン停止後に閉じます。（運転ランプは消灯し、UV･クリーンランプと排気ランプが点灯）

UV・除菌クリーン運転

運転可能条件

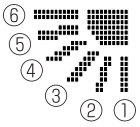
外気の温度	1～43℃
部屋の温度	13～32℃

- 外気または部屋の温度が高いときは、保護装置がはたらくことがあります。
- 室内ユニット内部のカビの発生をおさえるため、停止中に UV･除菌 クリーン を押すと、UV･除菌ユニットと排気ファンが35分間運転します。（運転ランプは消灯、UV･クリーンランプと排気ランプが点灯）
  開始後10分間は送風運転で熱交換器に付着している水分を室外に除去し、残りの25分間は暖房運転で蒸発･乾燥を行います。またこの間、熱交温度と外気温度によっては、送風運転になります。（他室冷房運転中は送風運転のみとなります。）
- 運転の途中で取り消したり外気温度によっては、室内ユニット内部が十分乾かないことがあります。
- 他室冷房運転中は、室内ユニット内部が十分乾かないことがあります。
- たて羽根は、開始後の25分間は❸の位置になり、その後10分間は右最大曲げ角度になります。
  またルーバーは、開始後の25分間は⑥より上の位置、その後10分間はさらに上の位置になります。
- お部屋の温度や外気温度によっては、窓や壁などに結露することがあります。
- 運転時は強制排気運転になります。

ルーバー可動範囲について

- 風向調節時、ルーバーの動作は右のようになります。
- スイング時、上ルーバーは左右交互に動き、下ルーバーはわずかに動きます。

ルーバーの位置



	可動範囲	風向自動時のルーバー位置	スイング範囲
自動運転（暖房）	③～⑥	②	①～④
自動運転（冷房･ドライ）	③～⑥	⑥	③～⑥
暖房運転 空気清浄単独運転	①～⑥	②	①～④
冷房･ドライ運転	③～⑥	⑥	③～⑥

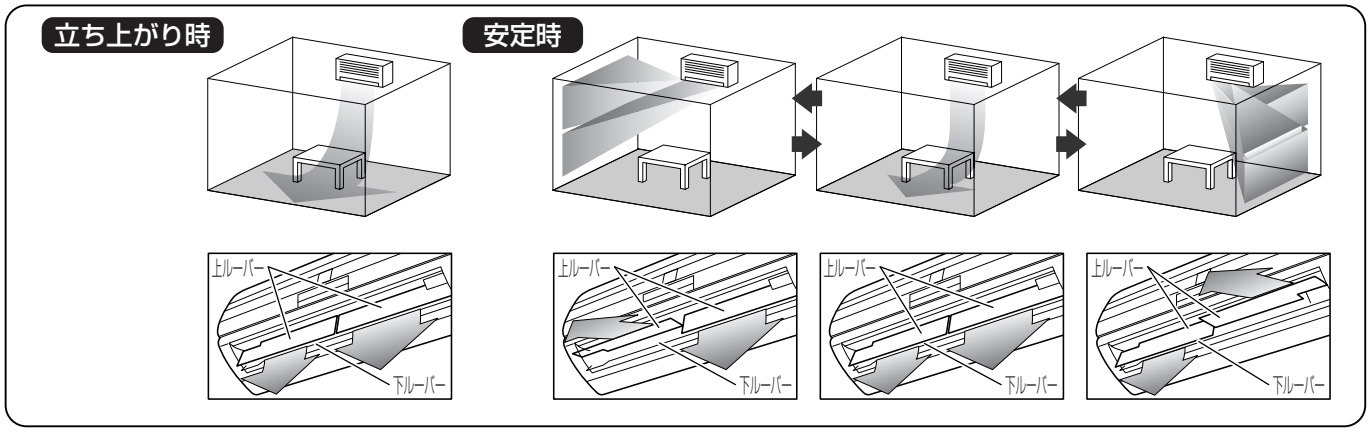
ニオイカット、UV・除菌ホコリカット、UV・除菌カビガードの作動の有無について

	風向設定	風量設定		運転開始時		停止後
				ニオイカット	UV・除菌ホコリカット	UV・除菌カビガード
冷房・ドライ	自動	自動	作動の有無	○	○	○
			たて羽根の動き	前回の位置	いったん右最大向きから設定位置にもどる	いったん左向きから設定位置にもどる
			ルーバーの動き	風向自動の位置	⑥より上	送風運転後に閉じる
	手動	自動	作動の有無	○	−	○
			たて羽根の動き	前回の位置	−	いったん左向きから設定位置にもどる
			ルーバーの動き	可動範囲の位置設定	−	送風運転後に閉じる
暖房・空気清浄	自動	自動	作動の有無	−	○	○
			たて羽根の動き	−	いったん右最大向きから設定位置にもどる	いったん左向きから設定位置にもどる
			ルーバーの動き	−	⑥より上	送風運転後に閉じる

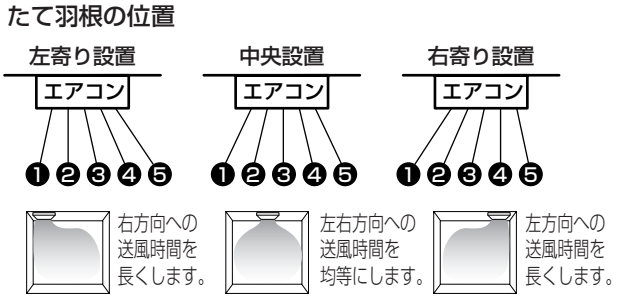
イオン立体気流制御について

- 風向自動時（上下・左右とも）にはたらき、運転の種類とエアコンの据付位置によって、ルーバーとたて羽根が立ち上がり時と安定時の2段階に変化します。
- 立ち上がり時、ルーバーは風向自動時のルーバー位置で運転し、たて羽根は❸の位置になります。
- 室温が安定して設定と同じになってから30分維持すると、上下3枚のルーバーとたて羽根が、いずれかの位置で効果的に連係制御し立体的な風を作り出すことで、マイナスイオン（イオン入のとき）と冷温風をお部屋にムラのないように届けます。
- たて羽根の位置によって、上ルーバーが下図のように動きます。

（例）暖房時　中央設置の場合



- お部屋のエアコン据付位置に合わせて設定することにより、たて羽根のスイング範囲と送風時間を調整し、設定位置に応じた気流制御を行います。



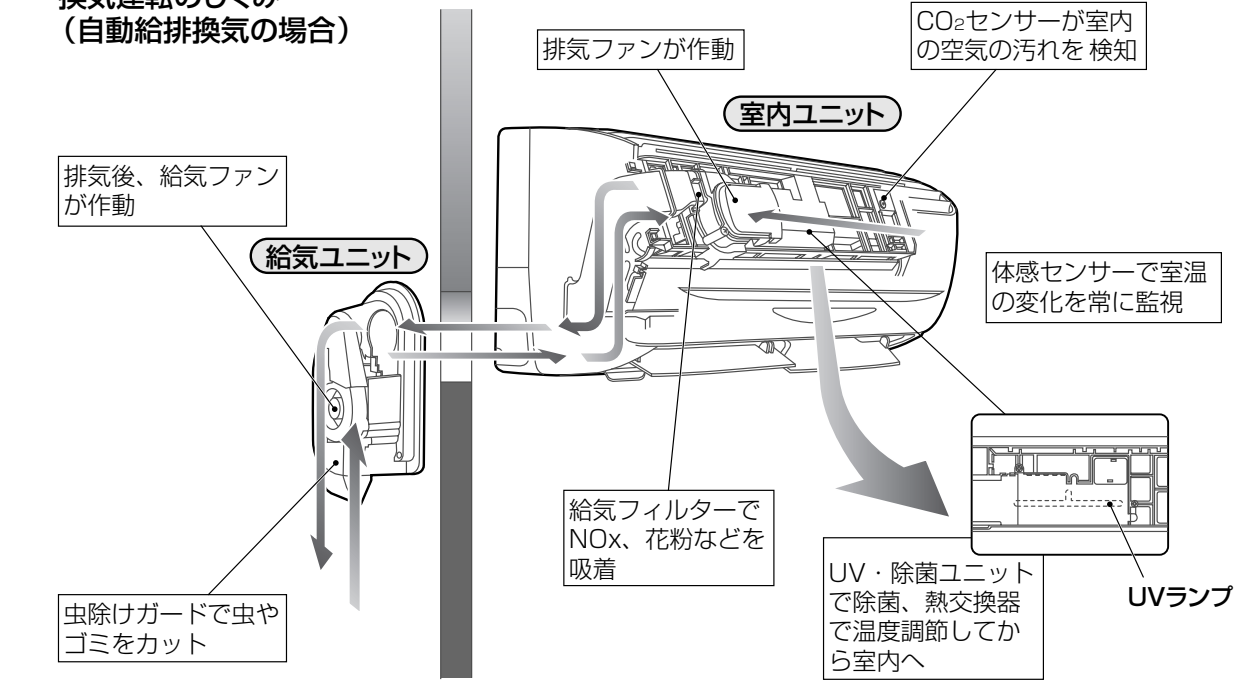
- 設定温度と室温の差が開いた場合はイオン立体気流制御は解除され、安定時から立ち上がり時の位置にもどります。
- イオン立体気流制御を解除したい場合は、風向（上下・左右いずれか）を自動以外にしてください。
- 暖房時は冷風防止機能により、風量の変更ができないことがあります。これは冷風感を与えないように配慮しているためです。
- リモコンのセンサー切換を本体センサーでご使用の場合は、室温表示が設定とずれることがありますが、異常ではありません。
- 設定温度に達して冷風防止機能がはたらいている場合や、風量自動での運動時は風量が低下することがありますが、異常ではありません。

- ルーバーとたて羽根の動作範囲は右のようになります。
- 上ルーバーの2枚が、上図のように左右交互に動きます。
- 空気清浄単独運動時は、安定時の暖房と同じになります。

	運転の種類	据付位置	上ルーバー動作	下ルーバー動作	たて羽根動作
立ち上がり時	暖房	中央	②	②	❸
		右	②	②	❸
		左	②	②	❸
	冷房・ドライ		⑥	⑥	❸
安定時	暖房	中央	②～③	②	❶～❺
		右	②～④	②	❶～❺
		左	②～④	②	❶～❺
	冷房	中央	④～⑥	④～⑥	❶～❺
		右	④～⑥	④～⑥	❶～❺
		左	④～⑥	④～⑥	❶～❺
	ドライ		⑥	⑥	❶～❺

エアコンのくわしい説明

換気運転について



- 通常使用としておすすめの「自動換気運転」、連続で換気運転ができる「強制換気運転」、また「換気 切」（排気ファンの運転は行なわず、ランプもつきません。）のいずれかに設定できます。さらに給気・排気どちらも行う「給排運転」、「排気運転のみ」「給気運転のみ」の3種類の運転から選べます。
- 給排運転では、1時間30分の排気運転と新鮮な外気を取り入れる給気運転を30分間交互に行うことで、お部屋の中の空気を入れ換えます。
- 排気運転では、空気清浄フィルターだけで取りきれないCO_2やVOC（ホルムアルデヒド等）を屋外に排出します。
- 給気運転では、まず屋外の給気ユニットの虫除けガードで虫やゴミの侵入を防ぎ、室内ユニットの給気フィルターでNOx（窒素酸化物）や花粉などを吸着し、さらにUV·除菌ユニットでは細菌を不活化した新鮮な外気を熱交換器に通して、室温に影響を与えない温度にしてからお部屋に入れます。
（ただし、外気0℃以下では運転しません。）

自動換気運転

- 単独換気運転時には換気を押すとルーバーは⑥、たて羽根は❸の位置、風量は微弱になります。その後、おこのみの風向·風量に変更できます。（範囲は空気清浄単独運転と同じです。）
※ 他の室内で暖房運転中は、風速は微風となります。
- 「自動給排」「自動排気」「自動給気」が選択できます。室内ユニットのCO_2センサー※がお部屋のCO_2濃度を見張り、濃度が上がるとCO_2センサーが検知して、自動的に換気運転を行います。
（ただし、CO_2センサーは室外ユニットの電源を入れてから1時間は機能しませんので、室内ファンが停止した監視状態になります。）
- 冷房シーズンはお部屋の温度が高いとき、暖房シーズンは低いときに運転します。

強制換気運転

- お部屋のCO_2濃度に関係なく、生活シーンや季節に応じて「強制給排」「強制排気」「強制給気」を選択し、お部屋の中に新鮮な空気を保つことができます。

ご注意

- 一般の換気扇のような大きな換気効果はありませんので、ニオイの強い場所でお使いになる場合は、ニオイが残ることがあります。
- 燃焼器具といっしょに運転するときは、エアコンの換気機能だけでは不十分です。
窓を開けたり、換気扇で換気してください。
- 室内外の温度・湿度によっては、エアコン内部保護のはたらきや外気により、給気運転しない場合があります。

他室暖房運転時の機能制限について

他室が暖房運転中には、換気または空気清浄運転をすると、暖かい風が出ることがあります。不快に感じる場合は、リモコン操作により、他室暖房中には換気、空気清浄機能が働かないようにすることができます。

操作方法

① 室内機本体のセレクトスイッチを“DEMO”にします。
② リモコンの換気により、“換気切”が選択されている状態で運転/停止を押す。
このとき、室内機から“ピー”と受信音がすることを確認する。

出荷時の設定に戻す場合

① リモコンの換気により、“自動換気”または“強制換気”が選択されている状態で運転/停止を押す。
このとき、室内機から“ピー”と受信音がすることを確認する。

※ CO_2（二酸化炭素）は全般的な室内空間の空気汚染を評価する1つの指標と言われています。

故障かな？と思ったときは

修理を依頼される前に、もう一度確かめてみてください。

これは故障ではありません。

すぐに運転しない		● 電源を入れた直後や再運転時、また運転中に 運転切換 を押すと、室外ユニットは約3分間運転しません。これはエアコンの故障を防ぐためです。
すぐに停止しない		● 運転停止後にエアコン内部を乾かすため、UV·除菌カビガード機能がはたらくためです。
すぐに風が出ない		● 冷房・ドライ運転開始時はニオイカット機能がはたらくためです。（風量自動のとき） ● 暖房運転開始時は冷風防止機能がはたらくためです。
音がする	水の流れるような音	● エアコン内部の冷媒ガスが流れる音です。（シュー、チョロチョロ、ゴボゴボなど）
	ピシッという音	● エアコン内部のスイッチ作動音、あるいはUV·除菌クリーン運転中など温度変化によって樹脂部品などが伸縮するときの音です。 または、暖房運転を停止したときの熱交換器からの音です。
	室外ユニットからの音	● 運転開始時、膨張弁が作動する音です。
いやなにおいがする		● 壁やじゅうたん、家具、衣類にしみこんでいるにおいがエアコン内部に付着し、運転中に強くにおうことがありますので、定期的な点検整備をおすすめします。点検整備は販売店にご相談ください。
熱交換器が変色している		● 熱交換器の右端が変色していますが、これは溶接によるもので、異常ではありません。
風量が切り換わらない		● ドライ運転時や暖房運転開始時、またUV・除菌クリーン運転中には風量は切り換わりません。 ● 運転中に 運転切換 を押すと約3分間は微風運転となり、その後設定した風量になります。 ● 風量自動で運転開始時はUV·除菌ホコリカット機能がはたらくためです。*(25ページ)*
湿度が下がらない 湿度が合わない		● 室内の温度が低い場合に、除湿量が少なくなるためです。 ● 冷房運転からドライ運転に切り換えた場合は、熱交換器に付いた露が蒸発し、一時的に湿気もどりがあるためです。 ● 冷房・暖房運転時は設定温度での調節のため、湿度表示が合わないことがあります。
室温が下がらない 室温が下がりすぎる		● ドライ運転時は湿度優先の運転を行うため、室外の温度条件によっては、室温が下がらないことや下がりすぎることがあります。
ほかのエアコンも 信号を受けてしまう		● 弊社エアコンを2台以上隣接設置するときはリモコンの混信をすることがありますので、アドレス切換を行ってください。 *(25ページ)*
単独換気または空清運転時に、 暖かい風や冷たい風が出る		● マルチエアコンであるため、停止中であっても他の室内で運転をしている場合には、冷媒が流れることがあります。

こんな時は、無効になります。

運転が無効となる場合	● 他の室内で異なったモードの運転をしている時、冷房·ドライ（暖房）運転できません。 *(29ページ)* ● 容量オーバーの時、待機となります。 *(29ページ)* ● ルーバーが取り付けられていない時は、運転できません。 *(29ページ)* ● 機能制限設定した時には、他の室内で暖房中の換気、空気清浄運転は働きません。 *(27ページ)* ● 他の室内で冷房中のUV・除菌クリーンは、送風とUVランプ点灯のみとなります。
リモコン表示に無効ボタンと 表示が出る場合	● 換気運転中は UV·除菌 クリーン、 快眠 は無効になります。 *(13ページ)* ● UV空清運転中は UV·除菌 クリーン、 快眠 は無効になります。 *(14ページ)* ● UV除菌クリーン運転中のリモコン操作は無効になります。 *(17ページ)* ● 停止中には おしえて は機能しません。 *(19ページ)* ● 停止中は、 温度 ▲ ▼ は無効になります。

こんなときはご連絡ください

故障表示と異常内容

室内ユニットのランプ表示と異常内容

異　常　内　容	運転ランプ	タイマランプ	備　　考
異常	点滅（0.5／0.5）		室内・室外異常とも
他号機ドレン異常	点灯	点滅（3.0／3.0）	運転継続（※1）
室外オイル警報	点灯	点滅（0.5／0.5）	運転継続
強制運転	点滅（0.5／0.5）	点滅（0.5／0.5）	（※2）
容量オーバーによる待機	点灯（赤・橙・緑）		2秒ごとに変色（※3）
異モードによる待機	点灯（緑・橙）		2秒ごとに変色（※4）
	点灯（赤・橙）		2秒ごとに変色（※5）
安全スイッチ（ルーバー）	全ランプ点滅（0.5／0.5）		（※6）

（　　）内はON秒数／OFF秒数を示します。

上記の異常に該当する場合は、お買い求めの販売店へ連絡してください。

（※1）室内ドレン異常が発生した場合、ドレン異常が発生した室内ユニットは異常停止します。
運転しているその他の室内ユニットは運転を継続させます。

（※2）室外ユニットでの自動試運転・室外からの強制除霜・室内ユニットでの試運転・マニュアル運転（モニター使用時）に表示します。

（※3）故障ではありません。運転台数容量オーバーです。
他の部屋で停止（リモコンOFF）すれば、待機の順番に運転を開始します。

（※4）故障ではありません。運転モードの不一致です。
運転している全室内ユニットを停止するか、暖房モードを選択すれば運転を開始します。

（※5）故障ではありません。運転モードの不一致です。
運転している全室内ユニットを停止するか、冷房・ドライモードを選択すれば運転を開始します。

（※6）ルーバーが取り付けられていません。ルーバー（上・下）を正しく取り付けてください。

次の場合は故障ではありません。他の室内の運転モードをご確認ください。

※異モード待機

① 他の室内で暖房運転をしているとき、冷房・ドライ運転をしようとしたとき。

② 他の室内で冷房・ドライ運転をしているとき、暖房運転をしようとしたとき。

※ 室内ユニットランプが緑・橙または赤・橙と2秒毎に変色します。

※容量オーバー待機

① 冷房時、室内ユニット容量が14kWを超える条件でリモコンONしたとき。

② 暖房時、室内ユニット容量が14kWをこえる条件でリモコンONしたとき。

※ 室内ユニットランプが赤・橙・緑と2秒毎に変色します。

※運転台数オーバーの待機

・冷房・暖房・ドライ時、室内ユニット台数が5台を超える条件でリモコンONしたとき。
例：室内ユニット　5台が運転している状態で、6台目の室内ユニットをリモコンONした場合。
※室内ユニットランプが赤・橙・緑と2秒毎に変色します。

要点　室内ユニットの待機について

■運転容量を超えた場合、リモコンを押した順番で待機状態となります。
■運転している室内ユニットのいずれかがリモコンスイッチをOFFした時点で、容量以内であれば待機優先順に室内ユニットを運転します。
■組合わせによっては14.0kWを超えた場合でも運転可能な場合があります。
室内ユニット容量合計：冷房　14.0kWまで（最大5台）　暖房　14.0kWまで（最大5台）
例：冷房の場合　2.8kW＋3.6kW＋2.8kW＋3.6kW＝14.0kW
例：暖房の場合　2.2kW＋2.8kW＋2.2kW＋2.8kW＋4.0kW＝14.0kW

仕様

壁掛形

型番			145-5040	145-5042
冷房能力		kW	2.8	4.0
暖房能力		kW	3.6	5.0
電源			単相200V　50/60Hz	
送風機	運転音 dB	強	40（冷）　39（暖）	44（冷）　44（暖）
		弱	32（冷）　31（暖）	35（冷）　35（暖）
	風量 m^3/min	強	10.5（冷）　11.0（暖）	12.0（冷）　13.0（暖）
		弱	6.0（冷）　8.5（暖）	8.5（冷）　10.0（暖）
外形寸法	高さ	mm	305	
	幅	mm	860	
	奥行	mm	259（据付後262）	
質量		kg	13	
外装色			パールホワイト	
付属品			据付工事説明書（1）、換気工事説明書（1）、給気ユニット（1）、給気カバー（ホワイト）、 リモコン（1）、単４形アルカリ電池（2）、リモコン取付具（1）、取付用ネジ（2） 空気清浄フィルター（1）、給気フィルター（2）、換気ホース（3）、ジョイント（2）	
別売品			空気清浄フィルター　148-0113　（洗えるアパタイトフィルター 1枚） 給気フィルター　148-0118　（ケース+フィルター 2回分） 延長用換気ホースセット　148-0123　（φ28） 148-0124　（φ20） 給気カバー　4145-5040-0951　（ブラウン） 4145-5040-0952　（グレー） 4145-5040-0953　（ブラック）	

運転音はJIS規格に準じて、無響音室で測定したA特性の値です。
組み合わせ可能室外ユニット：145-1002型

大阪ガス株式会社

大阪ガスのお問い合わせ先

別添　大阪ガスのお問い合わせ先をご参照願います。